

コロナ禍における東京都の若者の居住と健康に関する調査報告書

著者	藤 媛媛
雑誌名	TERG Discussion Papers
号	448
ページ	1-36
発行年	2021-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/00131569

TERG

Discussion Paper No.448

コロナ禍における東京都の若者の居住と健康
に関する調査報告書

藤 媛媛

2021 年 3 月 17 日

TOHOKU ECONOMICS RESEARCH GROUP
Discussion Paper

GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS AND
MANAGEMENT TOHOKU UNIVERSITY
27-1 KAWAUCHI, AOBA-KU, SENDAI,
980-8576 JAPAN

コロナ禍における東京都の若者の居住と健康に関する調査報告書¹

滕媛媛²

目次

I 調査概要	2
II 調査結果の概要(抜粋)	4
III 集計結果	7

1 本調査は、東北大学経済学研究科研究倫理審査委員会の審査を受けた。また、調査では、2020 年度 COI 東北拠点若手支援プロジェクト(学内)、および、東北大学東北アジア研究センター共同研究「新型コロナウイルスの発生がもたらす社会的格差の拡大:マイノリティグループに着目して」の支援を受けた。本調査の設計および実施においては、東北大学大学院経済学研究科増田聡教授、東北大学大学院環境科学研究科埴淵知哉准教授、藍野大学竹本圭佑助教などの方からアドバイスをいただきました。心からの感謝を申し上げます。

2 東北大学東北アジア研究センター助教 tengyuanyuan@hotmail.co.jp

I. 調査概要

1. 調査目的と内容

2020年2月以降、日本で発症が確認された新型コロナウイルスの感染者数は増加の一路をたどっている。東京都などの感染状況が深刻である地域において、2021年1月には、2回目の緊急事態宣言が発令された。これにより、外出自粛が要請され、人々が家にいる時間は大幅に増加した。これまで、住宅・居住環境は多くの面から人々の健康状況に影響を与えることが解明されてきた³。緊急事態宣言期間中では、自宅にいる時間が通常時と比較して遥かに長いため、住宅・居住環境が健康に与える影響はより大きくなり、メカニズムにも変化が生じる可能性がある。

住生活の向上を図り、日本は2006年に「住生活基本法」を公布したが、低所得、単身者、若者などの居住弱者の日常的住生活は、依然として深刻な状況にある⁴。2018年に総務省が実施した住宅・土地統計調査の結果によると、日本全国における最低居住面積水準に達していない世帯数は約350万世帯であり、全世帯の約7%を占めている。また、東京都では、12%の世帯(81万世帯)が最低居住面積水準⁵に達しておらず、47都道府県において最も多かった。そこで、本調査の第一の目的は、東京都における独身の若者の居住状況、自粛期間中の行動(外出や健康行動の実施など)、および、彼らの主観的健康感の変化を解明することである。

人口の東京一極集中と地方の過疎化問題が長年にわたる課題となっており、国や地方自治体は地方移住を促進してきたが、東京都人口の転入超過⁶は歯止めがかからなかった。しかし、新型コロナウイルスの感染が拡大した2020年5月には、東京都から転出した人口が東京都に転入した人口を上回り、その後も6月を除いて12月まで転出超過の状況が続いた。新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに働き方が変化し、地方移住が促進する転換点となる可能性が注目されている⁷。そこで、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、東京都に居住する若者の地方移住に対する意識に変化があったか、また、地方移住に対する意識変化は労働に対する意識や価値観にどのように関連しているかを解明することを、本調査の第二の目的とする。

本調査の内容は、①基本属性(性別・年齢・学歴・居住地・収入・職業など)、②居住状況と意識(住

3 例えば、Roux AVD, Mair C. (2010) Neighborhoods and health: Neighborhoods and health. *Ann Ny Acad Sci*. 1186(1):125-145.; Singh A, Daniel L, Baker E, Bentley R. (2019) Housing Disadvantage and Poor Mental Health: A Systematic Review. *Am J Prev Med*. 57(2):262-272.; Hanibuchi T, Nakaya T. (2020) Associations of neighborhood socioeconomic conditions with self-rated health, mental distress, and health behaviors: A nationwide cross-sectional study in Japan. *Prev Medicine Reports*. 18:101075.

4 塩崎賢明・阪東美智子・川崎直宏(2018)「住生活基本法体制の到達点と課題」『住総研研究論文集』No.44, pp.25-36.

5 最低居住面積水準とは、世帯人数に応じて、健康で文化的な住生活を営む基礎として必要不可欠な住宅の面積に関する水準である。こちらは、すべての世帯の達成を目指す目標である。住宅の基本的機能を満たしたうえで、単身者の場合の最低居住面積は、25㎡である。

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk2_000032.html

6 転入超過とは、東京都に転入する人口が東京都から転出する人口を上回ることである。

7 「東京からの転出40万人、コロナで一極集中に変化」日本経済新聞2021年1月29日、「東京集中、コロナで変化」日本経済新聞2021年2月6日

宅の広さ・居住形態・居住歴・居住満足度・近所付き合い・移住意識・居住選好など)、③新型コロナウイルスに関連する設問と健康状況(感染することに対する不安感・主観的健康感・生活様式・精神的健康など)、④労働意識(職業満足度・転職回数・起業意識など)、⑤価値観などからなる。

2. 調査実施概要

- (1) 委託先:株式会社日本リサーチセンター
- (2) 調査期間:2021年月 2 月 12 日(金)～2 月 16 日(火)
- (3) 対象者:2020 年以前から東京都に居住する 25～34 歳の独身者
- (4) 回収数:701
- (5) 回答者分布:図 1 に回答者の分布傾向を示した。

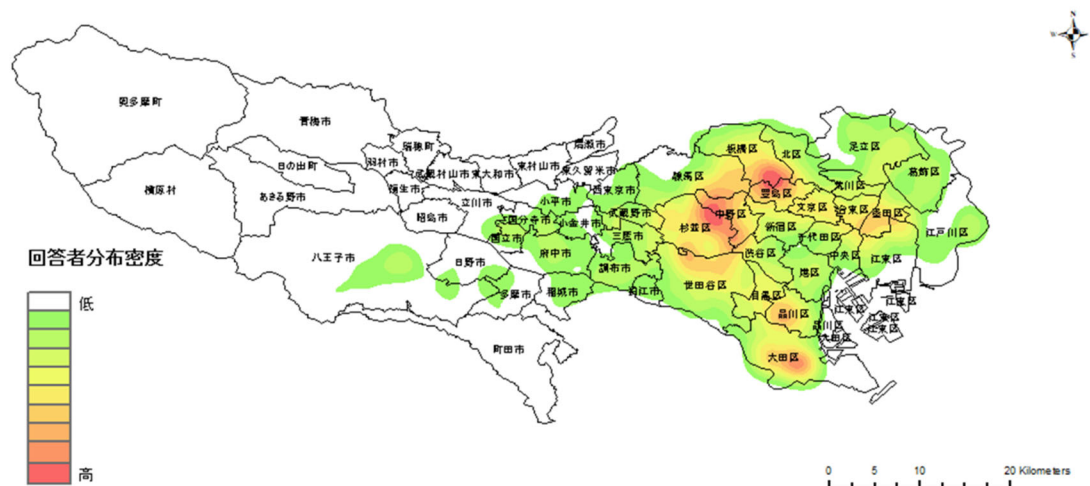


図 1 回答者の分布傾向

Ⅱ．調査結果の抜粋⁸

1. 住宅状況と居留意識

現在の住宅の広さについて尋ねたところ（Q8）、41.9%の回答者（294 人）は最低居住面積水準（単身者の場合、25 m²）に達していなかった⁹。当然のことながら、最低居住面積水準に達していない回答者は、そうでない回答者と比較して、住宅に対する満足度が低かった。最低居住面積水準に達していない回答者のうち、現在の住宅に対して、「不満」は31.0%、「非常に不満」は6.8%であり、不満を感じる人の割合は4割近くいた。また、住宅の各面に対する満足度について、「満足（4）」、「まあ満足（3）」、「多少不満（2）」、「非常に不満／不満（1）」の4件法で尋ねた（Q12）。図1に住宅各面に対する満足度の平均値を示す。最低居住面積に達している回答者とそうでない回答者の満足度の差が特に大きかったのは、「風呂・トイレ」、「キッチンの広さ」、「家の広さ」であった。

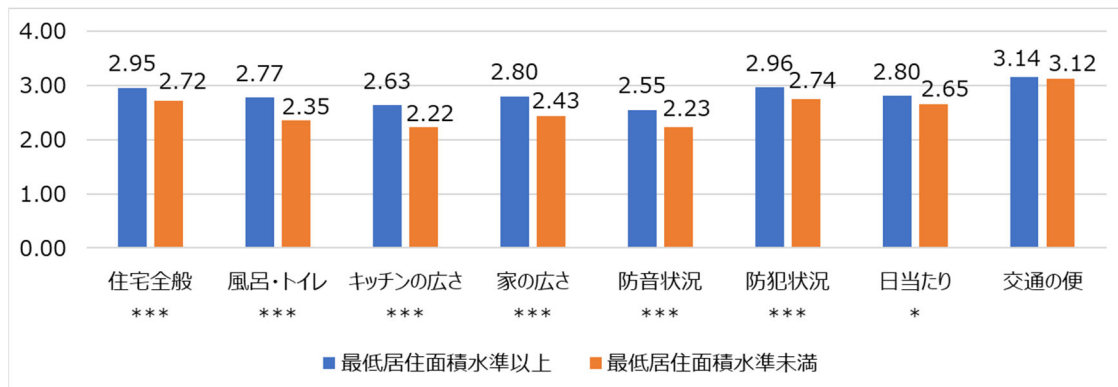


図1 住宅各面に対する満足度の平均値¹⁰（「住宅全般」以外は、満足度の差の昇順）

家の整理整頓の状況は住環境における重要な一要素であるため¹¹、回答者の家の整理整頓の状況について尋ねた（Q13）。選択肢は、「きれいに整理整頓されている」、「まあきれい」、「やや散らかっている」、「非常に散らかっている」であった。結果、家が散らかっていると回答

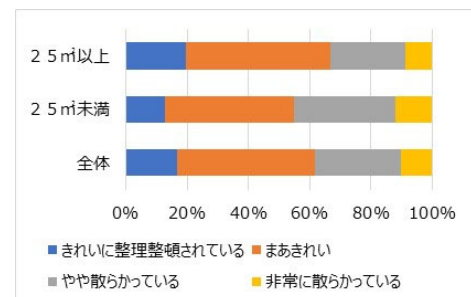


図3 家の整理整頓の状況

8 本抜粋は、最低居住面積水準の達成状況と一部の設問項目との関連について紹介した。しかし、住宅面積は居住状況の一部にすぎず、住宅面積のほか、強制的な退去に追い込まれる可能性、居住費用の負担感、住宅の設備、整理整頓の状況や周辺環境などが居留意識や健康に大きな影響を与える。これらについては今後の分析に譲りたい。

9 共用化する住宅機能（台所や浴室など）に相当する面積を考慮しない。

10 最低居住面積の達成状況により、住宅の各面に対する満足度に統計的に有意な差があるかどうかを検討するため、t検定を行った。その結果、「交通の便」以外の項目において、有意水準5%で有意な差が確認された。

11 Evans, G. W., Wells, N. M., Chan, H.-Y. E. & Saltzman, H. Housing Quality and Mental Health. *Journal of Consulting and Clinical Psychology* 68, (2000).

した人の割合は38.2%であった（図3）。なお、最低居住面積水準未満の回答者において、この割合はさらに高く、45.2%であった。

現在の住宅に対する居住意識について尋ねたところ（Q3、Q4）、最低居住面積水準に達していない回答者のうち、「すぐにでもここから引越したい」人は10.5%、「できればここから引越したい」人は41.2%であった（図4）。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大後、最低居住面積水準に達していない回答者の2割は、現在の住宅に対する居住継続意識が弱くなった（「少し弱くなった」が13.9%、「弱くなった」が6.8%）。

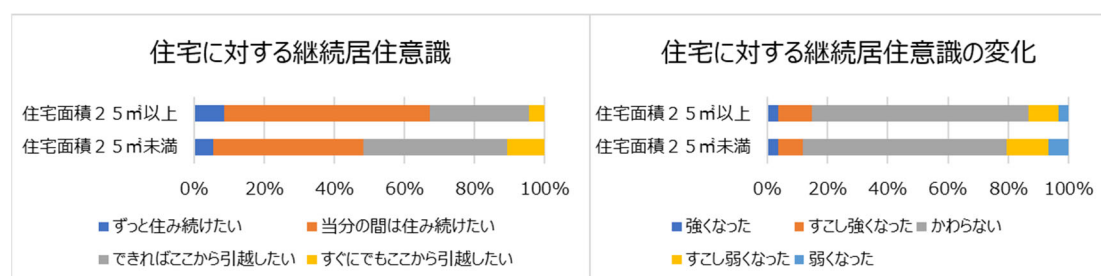


図4 継続居住意識と新型コロナウイルスの感染拡大後における継続居住意識の変化

2. 健康状態

健康状態を調査するため、主観的健康感（身体的・精神的、Q15）、日本で新型コロナウイルスの感染が拡大した後における健康状態の変化（身体的・精神的、Q16）、心理的ストレスの度合いを測る日本語版 K6¹²（Q19）、健康的な生活様式（Q18）などに関する設問を設けた。

(1) 現在の健康状態

健康状態の回答の分布を図5に示す。現在の健康状態では、身体的な健康状態が良くない（「少し悪い」または「悪い」）と回答した人の割合は7.6%であった。この割合は、最低居住面積水準以上の回答者の場合が5.9%、最低居住面積水準未満の回答者の場合が9.9%であった¹³。

精神的な健康状態が良くないと回答した人の割合は15.1%であった。この割合は、最低居住面積水準以上の回答者の場合が12.5%、最低居住面積水準未満の回答者の場合が18.7%であり、6.2%の差があった¹⁴。

(2) 緊急事態宣言期間中の心理的ストレス

K6 尺度は日本の国民生活基礎調査を含めた一般住民を対象とする調査であり、心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されている。その回答によって、心理的ストレスを正常、軽度、中程度、重度に分類することができる。

12 Kessler, R. C., et al. "Short screening scales to monitor population prevalences and trends in non-specific psychological distress." *Psychological medicine* 32.6 (2002): 959.; Furukawa, T. A., et al. "The performance of the Japanese version of the K6 and K10 in the World Mental Health Survey Japan." *International journal of methods in psychiatric research*, 17.3 (2008): 152-158.

13 カイ2乗検定では、有意な差は確認できなかった($p>0.05$)。

14 カイ2乗検定を行ったところ、5%水準で有意な差が確認できた。

調査の結果、緊急事態期間宣言中に、軽度の心理的ストレスを感じた回答者の割合は 27.8%、中程度の心理的ストレスを感じた回答者の割合は 18.7%であった。また、12.1%の回答者は重度の心理的苦痛を感じていた。なお、自粛期間中のストレスにおいて、最低居住面積水準の達成状況により統計的に有意な差は確認されなかった¹⁵。

(3) 健康状態の変化

新型コロナウイルスの感染拡大後における健康感の変化では、身体的な健康が悪くなった（「すこし悪くなった」、「とても悪くなった」）と回答した人の割合は 10.7%であった。この割合は、最低居住面積以上の居住環境の人の場合が 9.3%、最低居住面積未満の居住環境の人の場合が 12.6%であり、3.3 ポイントの差があった。精神的な健康が悪くなったと回答した人の割合は 22.4%であった。この割合は、最低居住面積以上の居住環境の人の場合が 22.1%、最低居住面積未満の居住環境の人の場合が 22.8%であり、差は小さかった。

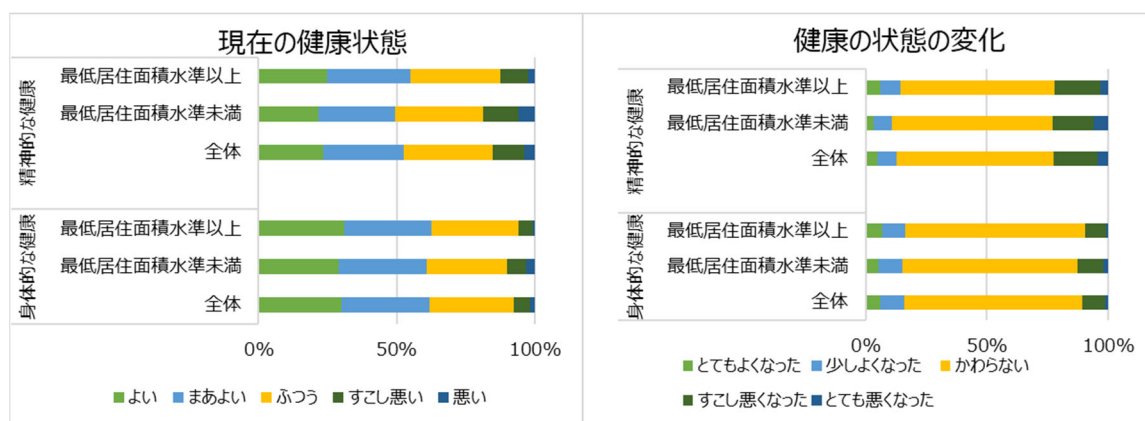


図 5 健康状態の回答分布

(4) 健康的な生活様式

2021 年 1 月 7 日に、東京都で緊急事態宣言が再発令された。今回の緊急事態宣言期間中の健康に関連する生活様式について、当てはまるものを複数回答で選択してもらった。調査した項目（「自宅でできる運動をしている」、「ジムなど自宅以外の屋内で運動している」、「屋外で運動している」、「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をする事が多い」、「自炊の頻度が増えた」、「規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている」、「バランスの取れた食事をしている」など）において、最低居住面積水準の達成状況により統計的に有意な差が確認できたのは、「自宅でできる運動をしている」と「自炊の頻度が増えた」であり、最低居住面積水準以上の居住環境の回答者のほうが高かった。

15 カイ 2 乗検定を行った ($p>0.05$)。ただし、心理的ストレスは、家の整理整頓の状況、住宅の防音効果などに対する満足度、居住費用に対する負担感の違いによって、統計的に有意な差が確認できた（カイ 2 乗検定、有意水準 5%）。

Ⅲ. 集計結果¹⁶

Q1. あなたの地方移住に対するお考えは、次のうちどれに最も近いですか。

		N	%
	全体	701	100.0
1	新型コロナウイルスの流行前から、地方移住について関心がある	125	17.8
2	新型コロナウイルスの流行前から、地方移住を検討している	42	6.0
3	コロナ禍をきっかけに、地方移住について関心をもつようになった	91	13.0
4	コロナ禍をきっかけに、地方移住を検討するようになった	25	3.6
5	地方移住を考えたことがない	414	59.1
6	その他	4	0.6

Q1_1. 地方移住を考えた際に、最も関心をもった地域を選択して下さい。

		N	%
	全体	287	100.0
1	北海道	15	5.2
2	青森県	2	0.7
3	岩手県	4	1.4
4	宮城県	3	1.0
5	秋田県	4	1.4
6	山形県	4	1.4
7	福島県	3	1.0
8	茨城県	9	3.1
9	栃木県	7	2.4
10	群馬県	4	1.4
11	埼玉県	17	5.9
12	千葉県	16	5.6
13	東京都	0	-
14	神奈川県	27	9.4

16 一部の設問は、「新型コロナウイルス感染拡大の仕事や生活への影響に関する調査」(独立行政法人労働政策研究・研修機構)、「JGSS-2015 第10回生活と意識についての国際比較調査」、「東大社研・若年パネル調査」((JLPS-Y) wave1-10, 2007-2016)」を参考・引用したものである。

15	新潟県	5	1.7
16	富山県	5	1.7
17	石川県	7	2.4
18	福井県	1	0.3
19	山梨県	8	2.8
20	長野県	16	5.6
21	岐阜県	1	0.3
22	静岡県	10	3.5
23	愛知県	9	3.1
24	三重県	3	1.0
25	滋賀県	1	0.3
26	京都府	7	2.4
27	大阪府	9	3.1
28	兵庫県	7	2.4
29	奈良県	2	0.7
30	和歌山県	1	0.3
31	鳥取県	3	1.0
32	島根県	1	0.3
33	岡山県	3	1.0
34	広島県	6	2.1
35	山口県	4	1.4
36	徳島県	1	0.3
37	香川県	2	0.7
38	愛媛県	2	0.7
39	高知県	2	0.7
40	福岡県	18	6.3
41	佐賀県	1	0.3
42	長崎県	1	0.3
43	熊本県	0	-
44	大分県	1	0.3
45	宮崎県	0	-
46	鹿児島県	1	0.3
47	沖縄県	19	6.6
48	わからない	15	5.2

Q2s1.現在お住まいの住宅や居住環境に対する満足度： 居住全般（住宅と環境）

		N	%
	全体	701	100.0
1	満足	148	21.1
2	まあ満足	417	59.5
3	多少不満	114	16.3
4	非常に不満	22	3.1

Q2s2. 現在お住まいの住宅や居住環境に対する満足度： 現在お住まいの住宅

		N	%
	全体	701	100.0
1	満足	142	20.3
2	まあ満足	350	49.9
3	多少不満	171	24.4
4	非常に不満	38	5.4

Q2s3. 現在お住まいの住宅や居住環境に対する満足度： 住宅のまわりの生活環境

		N	%
	全体	701	100.0
1	満足	188	26.8
2	まあ満足	380	54.2
3	多少不満	113	16.1
4	非常に不満	20	2.9

Q3s1. あなたの居留意識について、最も近いものをお答え下さい：現在の住宅

		N	%
	全体	701	100.0
1	ずっと住み続けたい	51	7.3
2	当分の間は住み続けたい	365	52.1
3	できればここから引越したい	236	33.7
4	すぐにでもここから引越したい	49	7.0

Q3s2. あなたの居留意識について、最も近いものをお答え下さい：現在の地域

		N	%
	全体	701	100.0
1	ずっと住み続けたい	84	12.0
2	当分の間は住み続けたい	427	60.9
3	できればここから引越したい	160	22.8
4	すぐにでもここから引越したい	30	4.3

Q3s3. あなたの居留意識について、最も近いものをお答え下さい：東京都

		N	%
	全体	701	100.0
1	ずっと住み続けたい	174	24.8
2	当分の間は住み続けたい	415	59.2
3	できればここから引越したい	96	13.7
4	すぐにでもここから引越したい	16	2.3

Q3s4. あなたの居留意識について、最も近いものをお答え下さい：東京圏（1都3県）

		N	%
	全体	701	100.0
1	ずっと住み続けたい	200	28.5
2	当分の間は住み続けたい	412	58.8
3	できればここから引越したい	72	10.3
4	すぐにでもここから引越したい	17	2.4

Q4s1. 新型コロナウイルスの感染拡大後、あなたの居住継続意識は変化しましたか： 現在の住宅

		N	%
	全体	701	100.0
1	強くなった	26	3.7
2	すこし強くなった	70	10.0
3	かわらない	489	69.8
4	すこし弱くなった	82	11.7
5	弱くなった	34	4.9

Q4s2. 新型コロナウイルスの感染拡大後、あなたの居住継続意識は変化しましたか： 現在の地域

		N	%
	全体	701	100.0
1	強くなった	25	3.6
2	すこし強くなった	73	10.4
3	かわらない	498	71.0
4	すこし弱くなった	77	11.0
5	弱くなった	28	4.0

Q4s3. 新型コロナウイルスの感染拡大後、あなたの居住継続意識は変化しましたか： 東京都

		N	%
	全体	701	100.0
1	強くなった	34	4.9
2	すこし強くなった	51	7.3
3	かわらない	519	74.0
4	すこし弱くなった	69	9.8
5	弱くなった	28	4.0

Q4s4. 新型コロナウイルスの感染拡大後、あなたの居住継続意識は変化しましたか： 東京圏（1 都 3 県）

		N	%
	全体	701	100.0
1	強くなった	31	4.4
2	すこし強くなった	56	8.0
3	かわらない	527	75.2
4	すこし弱くなった	66	9.4
5	弱くなった	21	3.0

Q5. あなたとご近所の方とのつきあいは、次のうちどれに最も近いですか。

		N	%
	全体	701	100.0
1	互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている	16	2.3
2	日常的に立ち話をする程度の付き合い	26	3.7
3	あいさつ程度の最小限の付き合い	196	28.0
4	付き合いはまったくない	463	66.0

Q6s1. 移住先を選択する際、次の項目がどれくらい重要だと思いますか： 雇用機会があること

		N	%
	全体	701	100.0
1	重要	386	55.1
2	まあ重要	221	31.5
3	あまり重要でない	68	9.7
4	重要でない	26	3.7

Q6s2. 移住先を選択する際、次の項目がどれくらい重要だと思いますか： キャリアアップの機会があること

		N	%
	全体	701	100.0
1	重要	178	25.4
2	まあ重要	270	38.5
3	あまり重要でない	192	27.4
4	重要でない	61	8.7

Q6s3. 移住先を選択する際、次の項目がどれくらい重要だと思いますか： 起業環境が整っていること

		N	%
	全体	701	100.0
1	重要	96	13.7
2	まあ重要	170	24.3
3	あまり重要でない	247	35.2
4	重要でない	188	26.8

Q6s4. 移住先を選択する際、次の項目がどれくらい重要だと思いますか： 今の仕事を続けられること

		N	%
	全体	701	100.0
1	重要	180	25.7
2	まあ重要	270	38.5
3	あまり重要でない	181	25.8
4	重要でない	70	10.0

Q6s5. 移住先を選択する際、次の項目がどれくらい重要だと思いますか： 親や兄弟、親せきが近くに住んでいること

		N	%
	全体	701	100.0
1	重要	95	13.6
2	まあ重要	231	33.0
3	あまり重要でない	240	34.2
4	重要でない	135	19.3

Q6s6. 移住先を選択する際、次の項目がどれくらい重要だと思いますか： 友人や知人が近くに住んでいること

		N	%
	全体	701	100.0
1	重要	123	17.5
2	まあ重要	265	37.8
3	あまり重要でない	204	29.1
4	重要でない	109	15.5

Q6s7. 移住先を選択する際、次の項目がどれくらい重要だと思いますか： 近所や地域の人とつながりを築けること

		N	%
	全体	701	100.0
1	重要	54	7.7
2	まあ重要	180	25.7
3	あまり重要でない	302	43.1
4	重要でない	165	23.5

Q6s8. 移住先を選択する際、次の項目がどれくらい重要だと思いますか： 文化・娯楽施設が充実していること

		N	%
	全体	701	100.0
1	重要	189	27.0
2	まあ重要	324	46.2
3	あまり重要でない	143	20.4
4	重要でない	45	6.4

Q6s9. 移住先を選択する際、次の項目がどれくらい重要だと思いますか： アウトドア体験やレジャーが充実していること

		N	%
	全体	701	100.0
1	重要	89	12.7
2	まあ重要	242	34.5
3	あまり重要でない	247	35.2
4	重要でない	123	17.5

Q6s10. 移住先を選択する際、次の項目がどれくらい重要だと思いますか： 豊かな自然があること

		N	%
	全体	701	100.0
1	重要	107	15.3
2	まあ重要	293	41.8
3	あまり重要でない	217	31.0
4	重要でない	84	12.0

Q6s11. 移住先を選択する際、次の項目がどれくらい重要だと思いますか： 子育て支援サービス・教育環境が整っていること

		N	%
	全体	701	100.0
1	重要	123	17.5
2	まあ重要	269	38.4
3	あまり重要でない	184	26.2
4	重要でない	125	17.8

Q6s12. 移住先を選択する際、次の項目がどれくらい重要だと思いますか： 行政の移住支援が整っていること

		N	%
	全体	701	100.0
1	重要	140	20.0
2	まあ重要	351	50.1
3	あまり重要でない	154	22.0
4	重要でない	56	8.0

Q7t1-Q7t3. あなたは、現在の住宅や地域に何年間住んでいますか。実数で年数をお答え下さい。（1年未満の場合は0をお答え下さい） t1：現在の住宅、t2：現在の地域、t3：東京都、t4：東京圏

略

Q8. 現在お住まいの住宅の広さ（床延べ面積）は、次のうちどれに近いですか。

		N	%
	全体	701	100.0
1	25 ㎡未満	294	41.9
2	25 ㎡～30 ㎡未満	259	36.9
3	30 ㎡～40 ㎡未満	89	12.7
4	40 ㎡～50 ㎡未満	35	5.0
5	50 ㎡～60 ㎡未満	12	1.7
6	60 ㎡以上	12	1.7

Q9. 現在お住まいの住宅の間取りをお答え下さい。

		N	%
	全体	701	100.0
1	ワンルーム	173	24.7
2	1K	382	54.5
3	1DK	55	7.8
4	1LDK	40	5.7
5	2DK	23	3.3
6	2LDK	19	2.7
7	その他	9	1.3

Q10. あなたがお住まいの住宅の種類は、次のどれにあたりますか。

		N	%
	全体	701	100.0
1	一戸建て	30	4.3
2	集合住宅（木造）	171	24.4
3	集合住宅（非木造）	495	70.6
4	その他	5	0.7

Q11. あなたがお住まいの住宅形態をお答え下さい。

		N	%
	全体	701	100.0
1	自分が購入した物件（住宅ローン返済中）	17	2.4
2	自分が購入した物件（住宅ローンなし）	14	2.0
3	親を含む親類の所有する家	17	2.4
4	民間の賃貸物件	579	82.6
5	都営賃貸住宅	17	2.4
6	都市再生機構（UR）・公社等の賃貸住宅	7	1.0
7	社宅や公務員住宅などの給与住宅	46	6.6
8	その他	4	0.6

Q11_1t1. ひと月当たりの平均的な家賃やローン返済などの住宅費はどれぐらいですか。

※管理費を含む金額をお答え下さい。

略

Q11_2. 現在お住まいの住宅における家賃やローン返済などの居住費の負担について、どのように感じていますか。

		N	%
	全体	687	100.0
1	生活必需品を切りつめるほど苦しい	50	7.3
2	ぜいたくはできないが何とかやっていける	189	27.5
3	ぜいたくを多少がまんしている	224	32.6
4	家計にあまり影響がない	197	28.7
5	家賃やローンを払う必要はない	27	3.9

Q12s1. 現在お住まいの住宅における下記の項目の満足度をお答え下さい： 家の広さ

		N	%
	全体	701	100.0
1	満足	129	18.4
2	まあ満足	281	40.1
3	多少不満	201	28.7
4	不満	90	12.8

Q12s2. 現在お住まいの住宅における下記の項目の満足度をお答え下さい： キッチンの広さ

		N	%
	全体	701	100.0
1	満足	101	14.4
2	まあ満足	260	37.1
3	多少不満	200	28.5
4	不満	140	20.0

Q12s3. 現在お住まいの住宅における下記の項目の満足度をお答え下さい： 風呂・トイレ

		N	%
	全体	701	100.0
1	満足	107	15.3
2	まあ満足	300	42.8
3	多少不満	198	28.2
4	不満	96	13.7

Q12s4. 現在お住まいの住宅における下記の項目の満足度をお答え下さい： 日当たり

		N	%
	全体	701	100.0
1	満足	151	21.5
2	まあ満足	304	43.4
3	多少不満	157	22.4
4	不満	89	12.7

Q12s5. 現在お住まいの住宅における下記の項目の満足度をお答え下さい： 防音状況

		N	%
	全体	701	100.0
1	満足	94	13.4
2	まあ満足	241	34.4
3	多少不満	226	32.2
4	不満	140	20.0

Q12s6. 現在お住まいの住宅における下記の項目の満足度をお答え下さい： 交通の便

		N	%
	全体	701	100.0
1	満足	269	38.4
2	まあ満足	283	40.4
3	多少不満	123	17.5
4	不満	26	3.7

Q12s7. 現在お住まいの住宅における下記の項目の満足度をお答え下さい： 防犯状況

		N	%
	全体	701	100.0
1	満足	131	18.7
2	まあ満足	388	55.3
3	多少不満	140	20.0
4	不満	42	6.0

Q13. あなたの家の状況は、次のうちどれに最も近いですか。

		N	%
	全体	701	100.0
1	きれいに整理整頓されている	117	16.7
2	まあきれい	316	45.1
3	やや散らかっている	197	28.1
4	非常に散らかっている	71	10.1

Q14. 現在お住まいの住宅に下記の設備はありますか。あるものをすべてお答え下さい。(いくつでも)

		N	%
	全体	701	100.0
1	ベランダ・バルコニー	495	70.6
2	エレベーター	279	39.8
3	オートロック	361	51.5
4	自分専用のシャワー・風呂	577	82.3
5	自分専用のトイレ	576	82.2
6	自分専用のキッチン	572	81.6
7	ユニットバス	236	33.7
8	窓	615	87.7
9	ロフト	53	7.6
10	当てはまるものはない	19	2.7

Q15s1. あなたの現在の健康状態はいかがですか： 身体的な健康

		N	%
	全体	701	100.0
1	よい	211	30.1
2	まあよい	223	31.8
3	ふつう	214	30.5
4	すこし悪い	41	5.8
5	悪い	12	1.7

Q15s2. あなたの現在の健康状態はいかがですか： 精神的な健康

		N	%
	全体	701	100.0
1	よい	165	23.5
2	まあよい	204	29.1
3	ふつう	226	32.2
4	すこし悪い	79	11.3
5	悪い	27	3.9

Q16s1. 2020 年 3 月に日本で新型コロナウイルスの感染拡大後、あなたの健康状態に変化はありましたか：

身体的な健康

		N	%
	全体	701	100.0
1	とてもよくなった	42	6.0
2	少しよくなった	69	9.8
3	かわらない	515	73.5
4	すこし悪くなった	66	9.4
5	とても悪くなった	9	1.3

Q16s2. 2020 年 3 月に日本で新型コロナウイルスの感染拡大後、あなたの健康状態に変化はありましたか：

精神的な健康

		N	%
	全体	701	100.0
1	とてもよくなった	35	5.0
2	少しよくなった	55	7.8
3	かわらない	454	64.8
4	すこし悪くなった	126	18.0
5	とても悪くなった	31	4.4

Q17. あなたは慢性的な病気または長期にわたる健康上の問題をかかえていますか。

		N	%
	全体	701	100.0
1	はい	106	15.1
2	いいえ	595	84.9

Q18. 2021 年 1 月 7 日に緊急事態宣言が再発令されました。今回の緊急事態宣言期間中のあなたの生活様式について、おうかがいします。以下の項目から当てはまるものをすべてお答え下さい。

		N	%
	全体	701	100.0
1	自宅でできる運動をしている	280	39.9
2	ジムなど自宅以外の屋内で運動している	104	14.8
3	屋外で運動している	128	18.3
4	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をする事が多い	156	22.3
5	自炊の頻度が増えた	285	40.7
6	規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている	142	20.3
7	バランスの取れた食事をしている	132	18.8
8	普段より、お酒を飲む頻度が増えた	83	11.8
9	普段より、お酒を飲む頻度が減った	152	21.7
10	当てはまるものはない	151	21.5

Q19s1. 過去 30 日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか： 神経過敏に感じましたか

		N	%
	全体	701	100.0
1	まったくない	309	44.1
2	少しだけ	179	25.5
3	ときどき	160	22.8
4	たいてい	33	4.7
5	いつも	20	2.9

Q19s2. 過去 30 日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか： 絶望的だと感じましたか

		N	%
	全体	701	100.0
1	まったくない	312	44.5
2	少しだけ	167	23.8
3	ときどき	153	21.8
4	たいてい	40	5.7
5	いつも	29	4.1

Q19s3. 過去 30 日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか： そわそわ、落ち着かなく感じましたか

		N	%
	全体	701	100.0
1	まったくない	275	39.2
2	少しだけ	197	28.1
3	ときどき	182	26.0
4	たいてい	30	4.3
5	いつも	17	2.4

Q19s4. 過去 30 日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか： 気分が沈み込んで、何かが起こっても気が晴れないように感じましたか

		N	%
	全体	701	100.0
1	まったくない	215	30.7
2	少しだけ	201	28.7
3	ときどき	194	27.7
4	たいてい	58	8.3
5	いつも	33	4.7

Q19s5. 過去 30 日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか： 何をするのも骨折りだと感じましたか

		N	%
	全体	701	100.0
1	まったくない	263	37.5
2	少しだけ	187	26.7
3	ときどき	171	24.4
4	たいてい	50	7.1
5	いつも	30	4.3

Q19s6. 過去 30 日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか： 自分は価値のない人間だと感じましたか

		N	%
	全体	701	100.0
1	まったくない	299	42.7
2	少しだけ	157	22.4
3	ときどき	151	21.5
4	たいてい	50	7.1
5	いつも	44	6.3

Q20s1. あなたは自分が新型コロナウイルスに感染することに対して不安を感じていますか： 2020 年 4-5 月 1 回目の緊急事態宣言期間

		N	%
	全体	701	100.0
1	とても不安	155	22.1
2	不安	215	30.7
3	やや不安	202	28.8
4	不安ではない	129	18.4

Q20s2. あなたは自分が新型コロナウイルスに感染することに対して不安を感じていますか： 2020 年 9-12 月 GoTo キャンペーン期間

		N	%
	全体	701	100.0
1	とても不安	80	11.4
2	不安	162	23.1
3	やや不安	279	39.8
4	不安ではない	180	25.7

**Q20s3. あなたは自分が新型コロナウイルスに感染することに対して不安を感じていますか： 2021 年 2 月現在
2 回目の緊急事態宣言期間**

		N	%
	全体	701	100.0
1	とても不安	87	12.4
2	不安	183	26.1
3	やや不安	255	36.4
4	不安ではない	176	25.1

Q21. あなたの現在の就業状態についてお答え下さい。

		N	%
	全体	701	100.0
1	会社・団体の経営者・役員	6	0.9
2	正社員・職員	494	70.5
3	公務員	22	3.1
4	自営業・フリーランス	31	4.4
5	契約・派遣・嘱託社員・職員	66	9.4
6	パート・アルバイト	43	6.1
7	学生（バイトをしている）	6	0.9
8	学生（バイトをしていない）	3	0.4
9	無職	23	3.3
10	その他	7	1.0

Q21_1. あなたのお仕事内容について、もっとも近いものをお答え下さい。

		N	%
	全体	668	100.0
1	専門職・技術職（医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど専門的知識・技術を要するもの）	178	26.6
2	管理職（企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など）	6	0.9
3	事務職（企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など）	237	35.5
4	販売職（小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど）	58	8.7

5	サービス職（理・美容師、料理人、ウェイトレス・ウェイター、ホームヘルパーなど）	68	10.2
6	生産現場職・技能職（製品製造・組立、自動車整備、建設作業員、電気工事、農水産物加工など）	18	2.7
7	運輸・保安職（運転手、郵便配達、通信士、警察官、消防官、自衛官、警備員など）	23	3.4
8	農林漁業（農業、林業、漁業従事者など）	2	0.3
9	その他	78	11.7

Q21_2. 職場の業種についてお答え下さい。

		N	%
	全体	668	100.0
1	建設業	18	2.7
2	製造業	89	13.3
3	情報通信業	79	11.8
4	運輸業	29	4.3
5	卸売・小売業	52	7.8
6	金融・保険業	40	6.0
7	不動産業	14	2.1
8	飲食・宿泊業	23	3.4
9	医療・福祉	59	8.8
10	教育、学習支援業	36	5.4
11	サービス業	138	20.7
12	農林水産業	1	0.1
13	その他	90	13.5

Q21_3. 職場までの通勤時間（片道）はどれくらいかかりますか。

		N	%
	全体	668	100.0
1	15 分未満	86	12.9
2	15～30 分未満	180	26.9
3	30～60 分未満	309	46.3
4	1 時間以上	93	13.9

Q21_4s1. 下記の記述はあなたの状況に当てはまりますか： 仕事では、よく不特定多数の人と接する

		N	%
	全体	668	100.0
1	当てはまる	317	47.5
2	当てはまらない	351	52.5

Q21_4s2. 下記の記述はあなたの状況に当てはまりますか： 通勤の際、いつも公共交通機関を使用する

		N	%
	全体	668	100.0
1	当てはまる	491	73.5
2	当てはまらない	177	26.5

Q21_4s3. 下記の記述はあなたの状況に当てはまりますか： 公共交通機関以外の通勤手段はない

		N	%
	全体	668	100.0
1	当てはまる	418	62.6
2	当てはまらない	250	37.4

Q21_4s4. 下記の記述はあなたの状況に当てはまりますか： 新型コロナウイルスの感染拡大前から、勤め先は既にテレワークを推進していた

		N	%
	全体	668	100.0
1	当てはまる	112	16.8
2	当てはまらない	556	83.2

Q21_4s5. 下記の記述はあなたの状況に当てはまりますか： 2020 月 4-5 月（第 1 回緊急事態宣言）に、勤め先はテレワークを実施していた

		N	%
	全体	668	100.0
1	当てはまる	364	54.5
2	当てはまらない	304	45.5

Q21_4s6. 下記の記述はあなたの状況に当てはまりますか： 2020 年 10 月に、勤め先はテレワークを実施していた

		N	%
	全体	668	100.0
1	当てはまる	307	46.0
2	当てはまらない	361	54.0

Q21_4s7. 下記の記述はあなたの状況に当てはまりますか： 2021 年 2 月現在、勤め先はテレワークを実施している

		N	%
	全体	668	100.0
1	当てはまる	337	50.4
2	当てはまらない	331	49.6

Q21_5s1. 以下の仕事に関する項目について、あなたはどのように感じていますか： 現在の仕事に満足している

		N	%
	全体	668	100.0
1	強く思う	57	8.5
2	そう思う	314	47.0
3	そう思わない	209	31.3
4	全く思わない	88	13.2

Q21_5s2. 以下の仕事に関する項目について、あなたはどのように感じていますか： 残業がとても多い

		N	%
	全体	668	100.0
1	強く思う	54	8.1
2	そう思う	152	22.8
3	そう思わない	247	37.0
4	全く思わない	215	32.2

Q21_5s3. 以下の仕事に関する項目について、あなたはどのように感じていますか： 現在の仕事をやめたい

		N	%
	全体	668	100.0
1	強くそう思う	95	14.2
2	そう思う	194	29.0
3	そう思わない	251	37.6
4	全くそう思わない	128	19.2

Q21_5s4. 以下の仕事に関する項目について、あなたはどのように感じていますか： 今後 1 年以内に、失業する可能性がある

		N	%
	全体	668	100.0
1	強くそう思う	21	3.1
2	そう思う	129	19.3
3	そう思わない	276	41.3
4	全くそう思わない	242	36.2

Q21_5s5. 以下の仕事に関する項目について、あなたはどのように感じていますか： 再就職は簡単だ

		N	%
	全体	668	100.0
1	強くそう思う	40	6.0
2	そう思う	162	24.3
3	そう思わない	261	39.1
4	全くそう思わない	205	30.7

Q21_5s6. 以下の仕事に関する項目について、あなたはどのように感じていますか： もしチャンスとお金があれば、自分で会社・事業を始めてみたい

		N	%
	全体	668	100.0
1	強くそう思う	79	11.8
2	そう思う	173	25.9
3	そう思わない	185	27.7
4	全くそう思わない	231	34.6

Q22. 新型コロナウイルス感染症に関連して、自身の雇用や収入に影響はありましたか。

		N	%
	全体	701	100.0
1	大いに影響があった	112	16.0
2	ある程度影響があった	189	27.0
3	あまり影響はなかった	231	33.0
4	全く影響はなかった	169	24.1

Q22_1. ご自身の雇用や収入にどのような影響がありましたか。当てはまるものをすべてお答え下さい。

		N	%
	全体	532	100.0
1	会社からの解雇	11	2.1
2	期間満了に伴う雇い止め	27	5.1
3	勤め先の休廃業・倒産に伴う失業	13	2.4
4	経営する事業が休廃業・倒産	12	2.3
5	雇用・就業形態の変更	35	6.6
6	業務内容の変更	72	13.5
7	勤務日数や労働時間の減少	151	28.4
8	勤務日数や労働時間の増加	19	3.6
9	収入の減少	240	45.1
10	収入の増加	15	2.8
11	自発的な退職	24	4.5
12	当てはまるものはない	158	29.7

Q23. あなたの 2020 年の 1 年間の収入はおよそどれくらいでしたか。※ボーナスや年金などを含め、税込み（税引前）の金額でお答え下さい。

		N	%
	全体	701	100.0
1	100 万円未満	45	6.4
2	100～300 万円未満	149	21.3
3	300～500 万円未満	303	43.2
4	500～700 万円未満	112	16.0
5	700～900 万円未満	30	4.3
6	900 万円以上	12	1.7
7	わからない・回答したくない	50	7.1

Q24. 2019 年と比較し、2020 年の収入はどれくらい変化しましたか。

		N	%
	全体	701	100.0
1	9 割以上減少した	8	1.1
2	7～8 割減少した	20	2.9
3	5～6 割減少した	33	4.7
4	3～4 割減少した	46	6.6
5	1～2 割減少した	127	18.1
6	ほぼ同じ（変動は 1 割未満）	306	43.7
7	1～2 割増加した	70	10.0
8	3～4 割増加した	12	1.7
9	5 割以上増加した	7	1.0
10	わからない・回答したくない	72	10.3

Q25. あなたは、これまで正規の社員・職員として、いくつの会社・組織で働きましたか。※現在、正規の社員・職員として働いている方は、それも含めてお答え下さい。

		N	%
	全体	701	100.0
1	0 社	68	9.7
2	1 社	338	48.2
3	2 社	183	26.1
4	3 社	67	9.6
5	4 社	25	3.6
6	5 社	6	0.9
7	6 社以上	14	2.0

Q26. あなたの兄弟や姉妹の状況は、次のどれにあたりますか。

		N	%
	全体	701	100.0
1	兄弟や姉妹がいる（私は、長男/長女である）	367	52.4
2	兄弟や姉妹がいる（私は、長男/長女ではない）	208	29.7
3	兄弟や姉妹はいない	126	18.0

Q27. あなたの最終学歴または現在通っている学校をお答え下さい。

		N	%
	全体	701	100.0
1	中学校	4	0.6
2	高校	69	9.8
3	短大・高専・専門学校	93	13.3
4	大学	459	65.5
5	大学院	74	10.6
6	その他	2	0.3

Q28. あなたが 15 歳の頃と 20 歳の頃はどの地域に住んでいましたか。それぞれお答え下さい。 15 歳
省略

Q28_2. あなたが 15 歳の頃と 20 歳の頃はどの地域に住んでいましたか。それぞれお答え下さい。 20 歳
省略

Q29. 普段、よく利用する移動手段は何ですか。（いくつでも）

		N	%
	全体	701	100.0
1	公共交通機関	553	78.9
2	自転車	176	25.1
3	バイク・原付	18	2.6
4	自動車（他人が運転する車への同乗も含む）	47	6.7
5	主に徒歩のみ	76	10.8

Q30. あなたは以下の乗り物を所有していますか。（いくつでも）

※今の住宅からすぐご利用できるものをお答え下さい。

		N	%
	全体	701	100.0
1	自転車	285	40.7
2	原付一種（～50cc）	11	1.6
3	原付二種（51～125cc）	4	0.6
4	バイク（125cc～）	14	2.0
5	自動車	57	8.1
6	当てはまるものはない	375	53.5

Q31s1.ライフスタイルや価値観：理想的なマイホームは、マンションだ

		N	%
	全体	701	100.0
1	強くそう思う	54	7.7
2	そう思う	252	35.9
3	そう思わない	304	43.4
4	全くそう思わない	91	13.0

Q31s2. ライフスタイルや価値観：理想的なマイホームは、一軒家だ

		N	%
	全体	701	100.0
1	強くそう思う	102	14.6
2	そう思う	274	39.1
3	そう思わない	246	35.1
4	全くそう思わない	79	11.3

Q31s3. ライフスタイルや価値観：マイホームは重要ではない

		N	%
	全体	701	100.0
1	強くそう思う	106	15.1
2	そう思う	266	37.9
3	そう思わない	264	37.7
4	全くそう思わない	65	9.3

Q31s4. ライフスタイルや価値観：田舎より都市に住みたい

		N	%
	全体	701	100.0
1	強くそう思う	170	24.3
2	そう思う	301	42.9
3	そう思わない	198	28.2
4	全くそう思わない	32	4.6

Q31s5. ライフスタイルや価値観： 近所付き合いは面倒だ

		N	%
	全体	701	100.0
1	強くそう思う	197	28.1
2	そう思う	333	47.5
3	そう思わない	151	21.5
4	全くそう思わない	20	2.9

Q31s6. ライフスタイルや価値観： 必ずしも結婚する必要はない

		N	%
	全体	701	100.0
1	強くそう思う	144	20.5
2	そう思う	301	42.9
3	そう思わない	178	25.4
4	全くそう思わない	78	11.1

Q31s7. ライフスタイルや価値観： 必ずしも子どもをもつ必要はない

		N	%
	全体	701	100.0
1	強くそう思う	157	22.4
2	そう思う	300	42.8
3	そう思わない	172	24.5
4	全くそう思わない	72	10.3

Q31s8. ライフスタイルや価値観： 私の私生活は充実している

		N	%
	全体	701	100.0
1	強くそう思う	65	9.3
2	そう思う	315	44.9
3	そう思わない	244	34.8
4	全くそう思わない	77	11.0

Q31s9. ライフスタイルや価値観： 普段の生活において自分が新型コロナウイルスに感染する可能性が高い

		N	%
	全体	701	100.0
1	強くそう思う	55	7.8
2	そう思う	251	35.8
3	そう思わない	307	43.8
4	全くそう思わない	88	12.6

Q32t1. 新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の外出時間を「10」とした場合の外出時間：

第一回緊急事態宣言期間（2020 年 4－5 月）

全体	701
母数	701
平均値	3.63
最小値	0.00
最大値	11.00
中央値	3.00
標準偏差	3.03
0 件数	67

Q32t2. 新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の外出時間を「10」とした場合の外出時間：

第二回緊急事態宣言期間（2021 年 1 月－現在）

全体	701
母数	701
平均値	5.20
最小値	0.00
最大値	11.00
中央値	5.00
標準偏差	3.03
0 件数	34